

テーマ

いつまでも住みたい海潮

公民館等名

雲南市 海潮交流センター

テーマの背景

少子化、高齢化が進む海潮地区の将来像を考えたときに、対策を講ずることが喫緊の課題である。

子育て、耕作放棄地、鳥獣被害、学校問題などの諸課題を交流センター主導で講ずることとした。海潮地区内から15名の策定委員を選任、交流センター職員も事務局として加わり策定委員会を発足し、誰もがいつまでも住みたい海潮を目指し、地区づくり計画に取り組むこととなる。

実際の取組

取組内容：アンケート

<取組の概要>

海潮地区在住の中学生以上を対象とし、内容は中学生・高校生用と18歳以上用の2種類のアンケートを全戸配布。アンケート結果から海潮地区の課題や問題点をあぶりだし、集計を専門家に依頼しグラフ、データー化していただく。それにより客観的に課題を読み取り、住みやすい地域づくりに反映する。またアンケート結果から得られたデータを基に各自治会ごとの地区カルテを作成する。

<成果と課題>

アンケート回収率80.1%。これを基に分析、データー化、グラフ化し、まとめた結果を全戸配布した。また地区カルテも作成。その後15自治会を策定委員、事務局で3名～5名で訪問し自治会員と課題や取組について意見を交換した。また、同時に作成したDVDも視聴し、各自治会の課題や海潮地区の課題についても併せて意見を交換した。

各自治会の現状が数値や映像で把握することが出来た。一人一人が積極的に問題に向き合い、取り組むことができるかが課題である。

実際の取組

取組内容：DVD 作成

<取組の概要>

研修や視察を基に、策定委員会でも映像による把握も必要ではないかという意見も多数を占めたことから、海潮地区の現状や文化遺産の取組などをドローンによる空撮映像や写真、アンケート結果から得られたデータ、グラフを 20 分程度の DVD にまとめた。空撮や DVD 編集は専門家に委託し、策定委員会にも数回参加していただき、意図や内容を共有しながら撮影、編集していただく。またナレーションは職員が担当した。

<成果と課題>

6 月に DVD が完成し各自治会に配布した。地元の現状を映像で見ることは初めてなので自治会員の関心は高く評価していただいた。各自治会との意見交換会では再度の視聴とアンケート結果を併せて話し合い、課題や問題点を指摘する一助となった。

20 分程度の内容のため、すべての自治会を網羅してない等の指摘もあって、自治会員からは評価も頂いたが要望もあった。

まとめ

テーマに迫るためのポイント

少子高齢化、子育て、学校問題、鳥獣被害等の有効的な対策がとれるか。今回はその有効的な手段としてアンケートや DVD の取組をした。策定委員会を中心に協議し、柱として打ち出した、“みんなで支え合う地域づくり” “子育て世帯、高齢者に優しい地域づくり” “誰もが暮らしたいと思う地域づくり” “誰もが安全で安心して暮らせる地域づくり” の目標に地区民一人一人が継続して取り組むことが肝要と考える。

今後の展望

今回は第二次地区づくり計画立案の方法として前述の手段を講じた。今後、5 年以内に計画に対しての検証、改善することで、第三次地区づくり計画策定に向けての判断資料とする。～いつまでも住み続けたい海潮～は永遠のテーマであり、地区民一人一人が立案、実行、検証、改善に携わり、繰り返し積み重ねることが、テーマに近づく一歩になると確信する。

(文責：生涯推進委員 佐々木 徹)